まとめテスト①

中2／データの比較 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・全部で50点、制限時間は25分。配点は大問の見出しに書いてある。
・計算は別の紙に。答えは数だけ書く（「点」「人」「%」は書かない。小数は 5.5 のように）。大問5は文で書く。
・四分位数は 前半と 後半に 分けて 求める（奇数個の 真ん中は 入れない）。大問5は 値を 使って 比べる。

大問1　四分位数・四分位範囲を求める

各2点（10点）

(1) 8人の 点数 2、5、7、8、11、13、14、20
第3四分位数は？

(2) 7日間の 気温 19、13、26、21、15、24、17
は 日ごとの 順。中央値は？

(3) データ 6、8、9、13、15、18、22、27、31、44
四分位範囲は？

(4) 最小値 4、第1四分位数 11、中央値 15、
第3四分位数 19、最大値 28 の 箱ひげ図。
範囲と 四分位範囲の 差は？

(5) 7人の 点数 4、11、11、14、16、20、26
第1四分位数は？

大問2　読む・考える

各3点（18点）

(1) 箱ひげ図に した 60人の 点数。第3四分位数 以下の
人は 約 何人？

(2) 25人の 点数。中央値は 61点。61点以上は
少なくとも 何人？

(3) 箱ひげ図の データ 1、2、3、5、7、8、9、12、34
箱の 中の 線の 値は？

(4) 第1四分位数 18.5、第3四分位数 26 の
箱の 長さは？

(5) データ 12、14、15、17、18、19、21、58 の
58を 23に 直した。四分位範囲の
直す 前と 後の 差は？

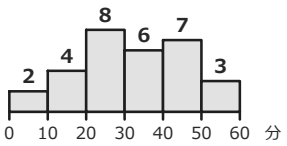
(6) 48人の 点数。第1四分位数 35点、
第3四分位数 72点。
箱の 中の 人は 約 何人？

大問3　ヒストグラムを使う

各4点（8点）

30人の 通学時間を 調べた。左の ヒストグラムは その 度数分布である。

通学時間（30人）



(1) 中央値が 入る 階級の
度数は？

(2) 第3四分位数が 入る 階級の
左はしは 何分？

大問4　データを 変える

各4点（8点）

(1) データ 5、7、9、12、14、16、19、22 に 15を
1個 加える。中央値は？

(2) データP 3、6、8、10、12、14、17、20
データQ 3、5、□、11、11、15、16、20
同じ 箱ひげ図。□は？

大問5　説明

6点

Aさんは、1組（中央値 58点、第1四分位数 47点、第3四分位数 66点、最高 96点）と、
2組（中央値 71点、第1四分位数 62点、第3四分位数 78点、最高 88点）を 比べて、
「最高点が 高い 1組の 方が 成績が よい」と 考えました。
この 考えが 正しくない 理由を、値を 使って 説明しなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「データの比較」のプリント一覧がひらきます

まとめテスト②

中2／データの比較 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・全部で50点、制限時間は25分。配点は大問の見出しに書いてある。
・計算は別の紙に。答えは数だけ書く（「点」「人」「%」は書かない。小数は 5.5 のように）。大問5は文で書く。
・四分位数は 前半と 後半に 分けて 求める（奇数個の 真ん中は 入れない）。大問5は 誤りの 理由を 書く。

大問1　四分位数・四分位範囲を求める

各2点（10点）

(1) 最小値 6、第1四分位数 14、中央値 20、第3四分位数 31、最大値 52。

四分位範囲は？

(2) 箱ひげ図に した 48人の 点数。第1四分位数 以上の 人は 約 何人？

(3) 6個の データ 11、15、17、22、24、29

中央値は？

(4) 8個の データ 8、11、13、14、18、19、20、23

第1四分位数は？

(5) 7個の データ 6、9、11、14、18、18、25

第3四分位数は？

大問2　箱ひげ図から読む

各3点（18点）

(1) 箱の 左はし 18、中の 線 25、右はし 40。

四分位範囲は？

(2) 41人の 点数。中央値は 65点。65点以上は 少なくとも 何人？

(3) 19人の 点数。0〜10点 7人、10〜20点 1人、20〜30点 1人、30〜40点 6人、40〜50点 4人。

中央値の 階級の 左はしは？

(4) データ 7、9、12、15、18、21、24、30

箱の 右はしの 値は？

(5) 箱ひげ図に した A組 40人、B組 60人。どちらも 箱の 中に 入る 人は 約 何%？

(6) 12個の データ 4、7、9、11、12、15、18、20、23、25、28、33

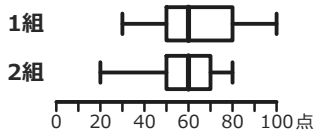
第1四分位数は？

大問3　箱ひげ図を比べる

各4点（8点）

1組・2組は どちらも 36人。左の 図は 点数の 箱ひげ図である。

点数（1組・2組 各36人）



(1) 四分位範囲が 小さい 組の 四分位範囲は？

(2) 2組で 第1四分位数 以下の 人は 約 何人？

大問4　誤りを 直す・データを 変える

各4点（8点）

(1) Cさんは データ 21、9、14、27、11、18、16 の 記録の 順の 真ん中 27を 中央値と した。

正しい 中央値は？

(2) データ 6、9、12、14、17、21、30 に 40を 1個 加える。中央値は？

大問5　説明

6点

Eさんは、36人ずつの 1組・2組の 箱ひげ図を 見て、
「1組の 箱の 方が 長いので、箱の 中に 入る 人数も 1組の 方が 多い」と 考えました。
この 考えが 正しくない 理由を、箱の 中に 入る 人数を 使って 説明しなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「データの比較」のプリント一覧がひらきます

まとめテスト①【こたえ】

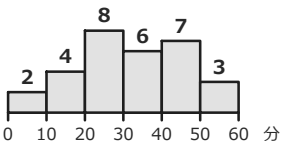
中2／データの比較 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問	正答	点	採点のめやす（×のときの誤答）	やるところ（記事の小単元）
1(1)	13.5	2	13 は ×（平均を とらない）	② 四分位数：偶数個・並べ替え
1(2)	19	2	21 は ×（記録順の 真ん中）	② 四分位数：偶数個・並べ替え
1(3)	18	2	38 は ×（最大−最小に した）	③ 範囲と四分位範囲
1(4)	16	2	24 は ×（範囲だけ 出した）	③ 範囲と四分位範囲
1(5)	11	2	9 は ×（(最小値＋中央値)÷2 に した）	① 四分位数：奇数個
2(1)	45	3	15 は ×（第1と 取りちがえた）	⑥ 箱ひげ図を読む：割合と人数
2(2)	13	3	12 は ×（半分 未満に した）	⑦ 箱ひげ図を読む：半分以上
2(3)	7	3	9 は ×（平均値に した）	⑤ 箱ひげ図をかく
2(4)	7.5	3		③・⑤ 範囲と四分位範囲　ほか
2(5)	0	3	35 は ×（範囲の 変化に した）	④ 四分位範囲のよさ
2(6)	24	3	37 は ×（箱の 長さを 人数に した）	⑥ 箱ひげ図を読む：割合と人数
3(1)	6	4	8 は ×（いちばん 高い 棒に した）	⑧ ヒストグラムと箱ひげ図
3(2)	40	4		⑧ ヒストグラムと箱ひげ図
4(1)	14	4	13 は ×（加える前の 値に した）	⑩ 発展：箱ひげ図から考える
4(2)	9	4		⑩ 発展：箱ひげ図から考える
5	下の 解答例	6	下の 採点基準（2点×3）	⑨ 比べて説明する

通学時間（30人）



大問5　採点基準（各2点）

① 「中央値は 2組71点、1組58点で 2組が 高い」と 値を 書く
② 「第1・第3四分位数（箱の 位置）も 2組が 高い」または「最高点は 1人の 値で 全体を 表さない」と 書く
③「最高点だけで 1組が よいは 正しくない。全体として 2組が よい」と 結論を 書く

解答例
中央値は 2組が 71点で、1組の 58点より 高い。第1四分位数・第3四分位数も 2組の 方が 高く、箱が 右に ある。最高点は 1人の 値で 全体を 表さない ので、全体として 2組が よい。

丸つけ　答えは 数だけで ○（「点」「人」「%」「分」が あっても ○）。0 も 答え。大問5は 採点基準の ①〜③ ごとに 2点。

考え方（途中の式）

1(1)(5) 8人は 前半4個・後半4個。後半 11、13、14、20 の 中央値＝2番目 13・3番目 14 の 平均で 13.5。7人は 中央値 14を 除いて 前半 4、11、11 の 中央値 11

1(2)(3) 小さい順に 13、15、17、19、21、24、26 で 4番目の 19。10個の 四分位数は 前半5個の 真ん中＝9、後半5個の 真ん中＝27 で 27−9＝18（範囲 38 は ×）

1(4) 範囲＝28−4＝24、四分位範囲＝19−11＝8。差は 24−8＝16

2(1)(2) 第3四分位数 以下は 全体の 約4分の3＝45人。25人の 中央値は 13番目で、13番目 以上は 13人

2(3)(4) 箱の 中の 線は 中央値＝5番目の 7（平均値 81÷9＝9 は ×）。箱の 長さ＝26−18.5＝7.5

2(5)(6) 58を 23に 直しても 四分位範囲は 5.5 のまま（変化 0）。範囲は 46から 11へ。箱の 中には 約半分の 24人

3(1)(2) 累積度数は 2、6、14、20、27、30。15・16番目は 30〜40分の 6人。23番目は 40〜50分（左はし 40）

4(1) 15を 加えて 9個。5番目の 14（加える前の 13 は ×）

4(2) データPの 5つの 値は 3、7、11、15.5、20。Qは 第1四分位数＝(5＋□)÷2＝7 より □＝9

声かけの 例　求める →「並べ替えた？ 個数は 奇数？ 偶数？」　四分位範囲 →「最大−最小に なってない？」　度数分布 →「何番目が どの階級？」

40点以上　仕上がり。×の 問が あれば 右の「やるところ」を 1回 やってから 再挑戦。
30〜39点　×の 多い 小単元から、診断テストの 答え面の 表で 練習する 順番を 決める。
29点以下　診断テスト［A］に もどって、×の 小単元を 数える。

得点　　／ **50 点**　　×の 問は 右の「やるところ」へ（番号は 診断テストの 表と 同じ）。40点以上なら 仕上がり。

まとめテスト②【こたえ】

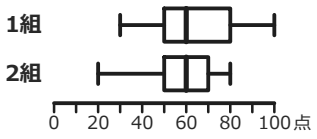
中2／データの比較 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問	正答	点	採点のめやす（×のときの誤答）	やるところ（記事の小単元）
1(1)	17	2	46 は ×（範囲に した）	③ 範囲と四分位範囲
1(2)	36	2	12 は ×（4分の1に した）	⑥ 箱ひげ図を読む：割合と人数
1(3)	19.5	2	17 は ×（平均を とらない）	② 四分位数：偶数個・並べ替え
1(4)	12	2	11 は ×（平均を とらない）	② 四分位数：偶数個・並べ替え
1(5)	18	2	19.5 は ×（中央値と 最大値の 平均）	① 四分位数：奇数個
2(1)	22	3	7 は ×（中央値−第1に した）	③ 範囲と四分位範囲
2(2)	21	3	20 は ×（半分 未満に した）	⑦ 箱ひげ図を読む：半分以上
2(3)	30	3	0 は ×（いちばん 多い 階級に した）	⑧ ヒストグラムと箱ひげ図
2(4)	22.5	3	30 は ×（最大値に した）	⑤ 箱ひげ図をかく
2(5)	50	3		⑥ 箱ひげ図を読む：割合と人数
2(6)	10	3	9 は ×（前半の 3番目に した）	② 四分位数：偶数個・並べ替え
3(1)	20	4	30 は ×（大きい 組の 値に した）	③ 範囲と四分位範囲
3(2)	9	4	27 は ×（第3四分位数以下に した）	⑥ 箱ひげ図を読む：割合と人数
4(1)	16	4	27 は ×（記録順の 真ん中）	② 四分位数：偶数個・並べ替え
4(2)	15.5	4	14 は ×（加える前の 値に した）	⑩ 発展：箱ひげ図から考える
5	下の 解答例	6	下の 採点基準（2点×3）	⑥ 箱ひげ図を読む：割合と人数

点数（1組・2組 各36人）



大問5　採点基準（各2点）

① 「どちらの 組も 36人で、箱の 中には 約半分の 18人が 入る」と 人数を 書く
② 「箱の 長さは 点数の はばで、人数の 多さを 表さない」と 書く
③「1組が 多いは 正しくない。人数は どちらも 同じ（約18人）」と 結論を 書く

解答例
どちらの 組も 36人で、箱の 中には 約半分の 18人が 入る。箱の 長さは 点数の はばを 表すもので、人数の 多さでは ない。だから 1組の 方が 多い は 正しくない。

丸つけ　答えは 数だけで ○（「点」「人」「%」「分」が あっても ○）。0 も 答え。大問5は 採点基準の ①〜③ ごとに 2点。

考え方（途中の式）

1(1)(2)　四分位範囲＝31−14＝17（範囲 46 は ×）。第1四分位数 以上は 全体の 約4分の3＝36人
1(3)(4)　6個は 3番目 17 と 4番目 22 の 平均で 19.5。8個の 前半 8、11、13、14 の 中央値＝12
1(5)　7個は 中央値 14を 除いて 後半 18、18、25 の 中央値 18（18が 並ぶので 中央値を 入れても 18）
2(1)(2)　四分位範囲＝40−18＝22（25−18＝7 は ×）。41人の 中央値は 21番目で、21番目 以上は 21人
2(3)　累積度数は 7、8、9、15、19。10番目は 30〜40点（いちばん 多い 0〜10点は ×）
2(4)(5)　8個の 後半 18、21、24、30 の 中央値＝2番目 21 と 3番目 24 の 平均で 22.5（30は 最大値）。箱の 中には どちらの 組も 約50%
2(6)　12個の 前半 4、7、9、11、12、15 の 中央値＝3番目 9 と 4番目 11 の 平均で 10
3(1)(2)　四分位範囲は 1組 80−50＝30、2組 70−50＝20。小さい 2組は 20。36人の 4分の1＝9人
4(1)　小さい順に 9、11、14、16、18、21、27 で 4番目の 16（27は 記録の 順の 真ん中）
4(2)　40を 加えて 8個。4番目 14 と 5番目 17 の 平均で 15.5（加える前の 14 は ×）

声かけの 例　箱の 長さ →「長さは 人数？ 値の はば？」　半分以上 →「中央値は 何番目？」　並べ替え →「記録の 順のまま 真ん中を とって ない？」

40点以上　仕上がり。×の 問が あれば 右の「やるところ」を 1回 やってから 再挑戦。
30〜39点　×の 多い 小単元から、診断テストの 答え面の 表で 練習する 順番を 決める。
29点以下　診断テスト［A］に もどって、×の 小単元を 数える。

得点　　**／ 50 点**　　×の 問は 右の「やるところ」へ（番号は 診断テストの 表と 同じ）。40点以上なら 仕上がり。

いちごドリル プリント